

	<p>日本科学者会議 (JSA) 滋賀支部</p> <h1>NEWS LETTER</h1>	<p>2020年7月8日発行 第57号 事務局長 水原 渉 TEL/FAX 0749-47-5169 (共通) go-ma-me@hi3.enjoy.ne.jp</p>
---	--	---

【滋賀支部告示】

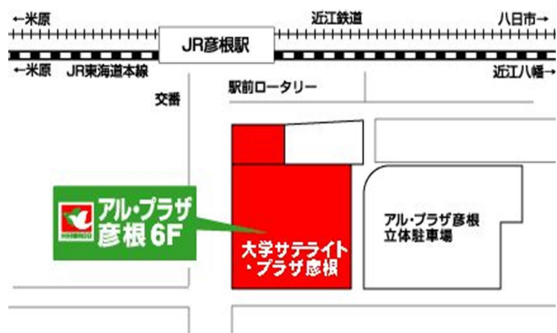
滋賀支部定期大会の開催について

事務局長 水原 渉

コロナ禍により、これまで毎年5月頃に開催されていた定期大会の時期は延期という判断が、4月26日のメーリングリストによる幹事会で行われました。科学者会議定期大会(全国)も9月に延期されたことを背景に、6月14日の第8回幹事会で、下記の様に定期大会の開催日を決定しました。会場については、幹事会でも出された条件に合った施設を確保しています。

日時：2020年8月9日(日) 13:30~15:45頃

場所：「大学サテライト・プラザ彦根」(地図参照)
 B、C会議室(通常収容者数計66名程度一疎開着席)



Web 参加も可能:

今回は8月でもコロナ禍が継続しているという判断で、インターネットでも参加できるようにしました。これは、彦根から遠距離に住んでおられる会員の方々にも、ご希望があれば利用して頂けます。E-Mail登録をされている会員の方には、直前にE-Mailでご案内します。非登録会員の方で、希望される場合は、水原まで連絡下さい(連絡先は下記)。

支部幹事・会計監査・全国大会代議員候補者の募集 全国幹事・全国参与の被推薦候補者の募集

支部規約により、支部大会で幹事、会計監査、全国

大会代議員を選出する必要があります。さらに、全国幹事、全国参与の推薦をする必要もあります(【参考】参照)。これらについて立候補される方は、7月25日(土)までに、「氏名」、「立候補する任務名」について、支部事務局長まで連絡してください。

【参考】

支部大会は支部の最高機関であり、基幹となる重要事項について審議、決定されます。それらは次の様に定められています：

- ① 活動報告・決算承認、活動方針・予算・会費の決定
- ② 幹事・会計監査・全国大会代議員の選出、役員・支部参与の承認
- ③ 全国幹事・全国参与の推薦
- ④ その他の重要事項の審議決定

(日本科学者会議滋賀支部規約第2条(支部大会)(2))

【問題提起】パン・洋菓子中の発がん物質

個人会員分会 小島 彬

12年前に定年退職してから、所有する田畑でオーガニック栽培を行なってきました。麦は赤カビ病の予防に農薬の使用を余儀なくされますが、米は完全な無農薬有機栽培が可能になってきています。しかし畑の野菜や米につくカメムシなどの駆除は、JAや地域の農業組合、あるいは個々の野菜栽培者が、ネオニコチノイド系の殺虫剤を当然の如く使用しており、支部ニュース54号で尼川さんが書かれているように、ミツバチを死滅させ人間にも神経毒性があり問題があります。

田畑の雑草の除草については、ラウンドアップが盛んに使用されて、極端な場合は写真のように田に栽培したキャベツの



傍に除草剤が散布され、雑草が赤茶色に枯れています。またチョウのキャベツへの産卵防止に、別の農薬も散布しています。しかしラウンドアップには発がん性のあるグリホサートが含まれていて、7割の国会議員の頭髪からその成分が抽出されたとして、国会で問題になりました。その原因はほとんどの小麦がアメリカから輸入されていることによります。

大量にアメリカから小麦を買い、船で1月かけて日本の港に運び、製粉会社が港で小麦粉に製粉しているため、船倉でコクゾウムシが繁殖して小麦を食い荒らすので殺虫剤が散布されており、ポストハーベスト問題として従来から危険性が指摘されてきましたが、これに加えてアメリカやカナダの農家が、収穫前に雑草を枯らす目的で、ラウンドアップを飛行機などで一斉散布するプレハーベストを行ない出したため、発がん物質が小麦に残留してしまっているという訳です。

パンの原料表示をよく見ると、今までは「国産小麦」と産地の表示をしていましたが、最近ではどれも「小麦粉（国内製造）」と巧妙に変えました。これでは産地がわかりません。いくつかのメーカーに電話して産地を尋ねると、すべてアメリカ産です。住んでいる地域で北海道産小麦を使用したパンを調べると2社あります。特に敷島製パンのパスコは、食パンの袋表面に「北海道産小麦、バター使用」と明記した食パンを販売しています。どの会社のパンや洋菓子も動脈硬化などの原因になるマーガリンやショートニングなどのトランス型脂肪酸を使用していてこれもまた問題ですが、これはバターを用いているためか割高です。私が平和堂（野洲、守山、能登川）や西友（野洲）に要望したので販売していますが、最近では気付いた消費者が出てきてよく売れています。生協（守山）も販売を始めました。またうどんも北海道産や国内産の小麦と明記した製品が出ていますが、洋菓子はパンと同様にアメリカ産小麦だと思われまます。

子供たちは毎日これらを食べており、将来どうなるかと危惧されます。安全だと信じ子供に食べさせているお母さんたちが、これを知れば驚き大きな世論になると思いますが、NHKは全く報道しないし、どの民放もパンメーカーのCMが多く、不問にしています。

そこでJSAこそ広く市民に知らせるべきであると考

え、滋賀支部幹事会で提案し、東京から著名な農薬毒性の研究者などを招き、新聞等にも事前に知らせて多数の参加者を集めようと、講演学習会を準備してきましたが、残念ながら新型コロナ問題で断念しました。講演だけに頼らず、SNSなど他の方法で危険な状況を知らせることができないのかと思います。また全国シンポを開き残留農薬問題に取り組む必要があります。

私達JSAは市民とともに、自動車購入の見返りに危険なアメリカ産農産物を輸入するのではなく、食料の自給率を高め、国民の健康や食の安全をも保障する政府の実現を求めていくことも重要だと思います。

【JSA 滋賀支部 第55期第8回幹事会議事録】

2020.06.14、9:30-12:00 Web会議

1. 情勢/2. 全国・近畿地区の活動：全国大会の9.27Web会議実施を全国事務局が提案（支部幹事会、賛成意見伝達）；近畿地区サポーター会議：5.17Web会議に1名参加/3. 滋賀支部の活動：支部大会についての決定：①8.9開催、②集合開催（Web参加可能）③「大学サテライト・プラザ彦根」会議室；講演学習会延期○会員数：変更なし○支部ニュース：在り方議論要；全国事務局から2万4千円助成○会誌発送：郵送代補充；配布時に振込用紙同封/4. 各分会の活動：○県大：前川講演会は継続検討○滋賀大：組織活動は困難な現状○両大学共通課題：図書館保有『日本の科学者』の状況調査、欠号補充検討/5. 支部関係団体、組織での活動など：○6.27-28「日本環境学会 in 立命大」開催中止（予稿集発行）○8.2「原水爆禁止2020年世界大会・科学者集会 in 福井」開催中止（予稿集発行）○12.4-6「第23回総合学術研究集会 in 東京」公害・環境分科会の設置（畑会員申請）○第11回「ひこねピースフェスタ」：中止決定○教育問題：休校問題、子どもの意見表明権無視の日本の現状の問題提起○環境問題：住宅地メガソーラー設置計画問題の情報提供/6. 支部広報活動：支部HP、フェイスブック/7. 会員拡大：特に幹事は常時念頭に置き、可能性のある人たちに、適時、積極的に働きかける/8. 署名集め：「安倍9条改憲NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」での取り組みにも協力する/次回幹事会：定期大会時に開催